



青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成30年度 第160号 1月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

子育てフォーラム青木2018

家族・地域・学校との「つながり」を改めて実感した 「子育てフォーラム2018 in あおき」

保小中一貫教育委員会事務局 北垣内 博（青木小学校教頭）

保小中一貫教育13年間の取り組みが、一昨年度、「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰」という形で全国的にも認められました。今年度は、過去の積み重ねに留まらず、節目となる15年目につながる取り組みにしていかななくてはならないと考え、14年目の活動を推進して参りました。その中で、保護者や地域の皆様とともに「村の子ども」を支える活動のあり方や今後の方向性について考える機会となったことが、何よりの成果と考えております。

12月1日（土）には「自尊感情の育成」をキーワードに『子育てフォーラム2018 in あおき』を開催し、村内外より130名の皆さんにご参加いただきました。当日は講演会や分科会（保小連携委員会、小中連携委員会、特別支援教育委員会）、活動報告（5か条委員会、子育て委員会）を行いました。多くの皆様と子育てについて意見を交換する場となり、家族・地域・学校との「つながり」を改めて実感するよい機会となりました。

以下、当日の様子について、お知らせします。

1 開会行事について

自尊感情の育成に向けた5か条委員会の取り組みを全体会で発表していただきました。『あおきっ子教育ポイント5か条（第4条）』に焦点を当て、各ご家庭での「お手伝いの様子」について保育園、小・中学校でアンケート調査を実施し、結果を考察して今後の子育て（子どもとのかかわり）や取り組みについて提案していただきました。



2 講演会について

NPO 法人 侍学園スクオーラ・今人^{いまじん}理事長 長岡秀貴さんをお招きし、「幸せに生きる

ために必要なこと～子育ての時間は限られている～」と題して、ご講演をいただきました。今まで出会った方々とのリアルな世界で、本気で人とかがわり、常に変化を求めてこられた実践を語っていただきました。私たちの子育てにつながる多くのヒントをいただくことができました。多くの皆さんの心にも深く残っていることでしょう。



親として何が大切なのかを気づかされました。当たり前と大人（親）が思っているだけで、それは違うこともあるということ、周りと同じじゃないと不安なのは子どもではなく、親なのかもしれません。子どもを理由に自分（親）の不安から逃げてしまっているところもあるかもと、自分自身感じました。（保護者）

3 アトラクション・その他の企画について

アトラクションでは、今年度も小学校の金管バンドと中学2年生の皆さんが素敵なハーモニーを発表してくれました。フォーラムの主役である子どもたちからたくさんの感動をもらいました。私たちの取り組みが報われたようです。休日に参加してくれた小中学生の皆さん、ありがとうございました。

更に、多くの皆様にご参加いただけるよう保育園の先生方がフォーラムに参加されている皆様のお子さんをお預かりしたり、大学生の皆さんが総合体育館で小中学生を対象としたミニスポーツ大会を企画したりしてくださいました。



4 分科会について

今年度も以下のようにテーマを設定し、3つの分科会（保小連携委員会、小中連携委員会、特別支援教育委員会）を開催しました。限られた時間ではありましたが、多くの方々の思いやご意見をお聞きする機会となりました。

第1分科会

こんな時、どうしたらいいですか？

～先輩ママさん、助けてください！～



全体的には少人数でしたが、参加した皆さんはとても積極的に意見を（付箋に書く）出し合っていました。いつもは拾えない生の意見が出てきたのではないのでしょうか。（地域の方）

第2分科会

「英語でつながる小中学生」

…小学生から楽しみながら学習することは子どもたちにとって、とても素晴らしいことだと思うし、その後の英語学習にもプラスになると思いました。授業を体験できたのは、子どもの今を知ることができて、私にとってもすごくプラスになりました。
(保護者)



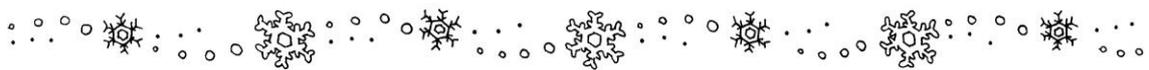
第3分科会

～青木村の教育相談を上手に利用し、安心して子育てしよう～



学習支援が中学では中心なんだなあと思いました。メンタルなところも心配があったので、またお話をお聴きしに行きたいです。
(保護者)

今後も子どもの姿で、私たちの取り組みを検証し、「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えております。保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



5か条委員会発表

～親子いっしょにお手伝い～

＜保小中一貫教育5か条委員会＞

今年度、5か条委員会は、青木村の教育目標「心豊かでたくましい子どもの育成“社会力（生きる力）を育てる”」を受けて、第4条の中の「親子いっしょにお手伝い」にスポットを当てて活動をしてきました。具体的には、夏休みに各ご家庭で「親子いっしょにお手伝い」の実践をお願いし、その中で「ありがとう」「うれしいよ」などの声をかけ合うことを提案いたしました。

そこで、その取り組みから、各ご家庭にご協力いただいたことで分かってきたことを「子育てフォーラム青木」の開会行事の中で発表をいたしました。

以下は、当日の発表内容・パワーポイントの抜粋です。

青木保育園のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お子さんの様子

- 普段から進んでやってくれています。
- お料理は大好き!何でもやりたがります。
- うれしそうに何でもやってくれます。
- 自分から手伝ってくれました。
- 足で踏んで水をきるのが楽しかったようで喜んでやっていました。
- 気分にもよりますが、楽しそうにお手伝いをしてくれることもあります。
- 初めてのお手伝いは、どんなふうになるのか興味をもっていました。

やりたい

うれしい

興味がある

保育園の子どもたちはお手伝いが大好き!

青木小学校低学年のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お子さんの様子

- 進んで行ってくれた。
- いつになく一生懸命にやってくれた。
- やりたがる姿がある。
- 言われたことをやってくれた。
- もっと嫌がると思ったが、そんなこともなくやってくれた。
- しょうがなくやっている感じもする。
- 楽しんでお手伝いをする自分からやってくれるようになった。
- ちゃんときれいにできるようになった。

進んでする

時にはいろいろな
気持ち

上手になった

**お手伝いへの気持ちはそれぞれ!
できることが増えてくる!**

青木小学校高学年のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お子さんの様子

- 自分から進んでやってくれた。
- 言えば何でもよく手伝ってくれる。
- 長時間でもできる。
- 嫌な顔一つせずにしてくれた。
- ほぼ毎日やってくれる。
- 日によってやったり、やらなかったりです。
- しっかりとできる。
- 自分で全てやってくれた。大きな成長を感じた。
- 上手に切りたいという気持ちもでていた。
- 自分から作った料理の感想を聞いていた。

積極的

責任感

向上心

**進んでしてくれる。しっかりしようとしてくれる。
もっと上手になりたい気持ちがある。**

青木中学校のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お子さんの様子

- 楽しくお手伝いをしてくれた。
- とにかくよくお手伝いをしてくれて助かる。
- こつこつと隅々までやっていた。
- 文句を言いながらもやってくれて、それを毎日やっている側の気持ちにも気づけてきた。
- しょうがないといいながらも最後までやってくれた。
- ユーチューブを見ながら、一緒に楽しく作れた。
- よくやってくれる。勉強はしないが、お手伝いは進んでやってくれます。
- ありがとうと言われてうれしそうだった。

他者理解

感謝

自立

家族の一員としてやらなきゃ。いつもありがとう。

青木保育園のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お家の方の気持ち

- できるだけやらせるように努めています。
- 包丁の使い方はハラハラします。
- お手伝いをしてくれることはうれしいですが、水で服や床がびしょびしょになって、少し困ってしまうこともあります。
- 遊びになりつつありましたが、楽しくやるのが一番いいと思いました。
- 上の子がやっていることをまねて、たくさんしてくれるので、たくさん褒めたい。

様々な経験をしてほしい

でも、ハラハラすることも

また、困ることも

**少し心配だったり、困ってしまったりすることもあるけれど、
楽しみながらしてくれてうれしい。たくさん経験してほしい。**

青木小学校低学年のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お家の方の気持ち

- 収穫する喜びを感じてくれてうれしかった。
- いっしょにやると楽しい。娘もできることをしてくれるので助かる。
- 言われたことをやってくれた、言われなくてもできるとうれしい。
- お手伝いが定着できるといい。
- 思ったよりきちんとやってくれて成長を感じた。
- ほめるととてもうれしそうにしていた。

できることが増えた

でも、もっと定着を

成長を感じる

できることが増えて、成長を感じる。

青木小学校高学年のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お家の方の気持ち

- とても助かった。
- 頼りになる。大人としての役割に近くなる。
- 言えば何でもやってくれた。
- 親の大変さも分かってもらえた。
- 驚いた。
- 大きな成長を感じた。
- 人に作ってもらったものは、本当においしかった。
- 一緒にやることで気持ちよくおいしく食事ができた。
- 会話に花が咲いた。よく話せた。
- 楽しい時間だった。
- 一人で作るより楽しかった。

助かる

成長を感じる

会話ができる

楽しい

とても上手になってびっくり。会話もはずむ。一緒にすると楽しい。

青木中学校のお家の方とお子さんとの取り組みの様子

お家の方の気持ち

- 楽しく一緒にできました。
- 会話をしながら楽しくできた。
- 楽しく作れ、おいしかった。成長を感じた。
- 手際よく驚いた。
- 口で言うだけでなく、一緒に行ったので、おだやかにできた。
- 普段からよくしてくれる。とにかくいろいろしてくれて助かる。
- 助かった。
- みんなで作るとはやく終わるし、家族の一員という自覚を感じられる。

助かる

頼りになる

任せられる

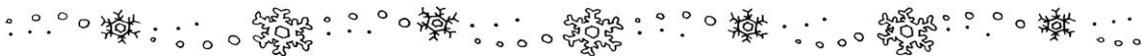
頼りになる。任せられる存在に。子どもと共有する時間も楽しい!



皆様にご協力をいただき、青木村の保小中の取り組みの様子から、お手伝いを通しての親子関係の深まりや子どもたちの自立への歩みが着実になされているということが分かりました。

そして、お手伝いは、子どもたちの「自己有用感」「自尊感情」の高まりにもつながるということも分かってきました。これからも、第4条の中の親子いっしょにお手伝い、そして青木村のあおきっ子教育ポイント5か条の実践を通して「心豊かでたくましい子どもの育成“社会力（生きる力）を育てる”」を大切にしていきたいと思えます。

※夏休み中の「親子いっしょにお手伝いへの取り組み」やアンケートのご提出等、ご協力ありがとうございました。



子育て委員会展示発表

～伝えよう感謝の気持ち～

＜保小中一貫教育子育て委員会＞

昨年度の反省に、「子どもが成長するにつれ、私たち大人は子どもへの感謝の気持ちを抱きながらも、それを素直に伝えられない」という意見が多く寄せられました。感謝の気持ちを伝えることは大切なことですが、なれ合いになったり恥ずかしくなったり忘れられることがよくあるようです。簡単なようで、実は難しいということがよくわかります。子育て委員会では、体験談を目にすることで、伝えることのきっかけになればと考え



ました。感謝されることは、子どもの有用感や自尊心を高めることの手助けにもなるはず
です。

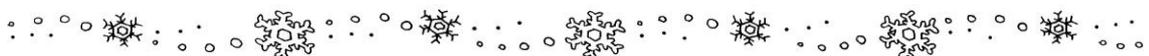
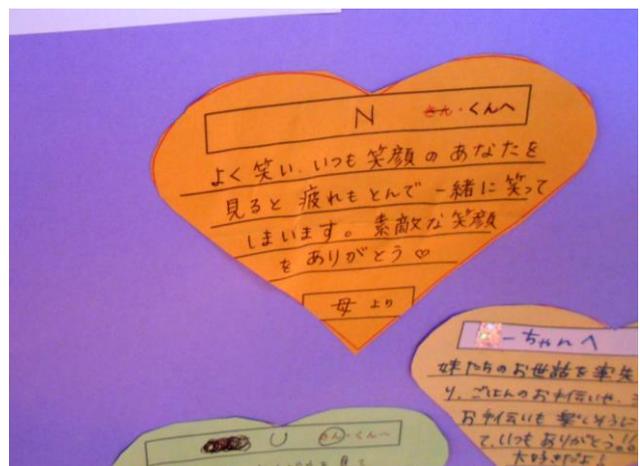


実際にアンケートを実施して驚いた
ことが2つあります。まずは回答率の高
さです。50%近い回答はこのことに対
する関心の高さの裏付けだと思います。

2つ目は、回答内容です。年齢により
違いはありますが、生まれてきてくれた
ことへの感謝の気持ちや成長過程につ
いてのものが半数以上を占めていたこ
とです。どの家庭でも、自分の子どもが
一番大切に、その成長を本気で願って
いるにも関わらずそのことを伝えきれて

いないのです。次いで多かったのが、何気ない日常の出来事に対するもの、涙を誘う内容
でした。

この委員会での活動を通して感じたこと
は、伝えにくいこともあります。コメン
トの半数以上はただ伝えるきっかけがな
かただけのような気がしました。実際にコ
メントの中には、「いつか言おうと思ってい
た」とか「あのとき言えなかったけど」と
いうようなものがいくつかありました。伝
えられる側の有用感や自尊心との関係性ま
では問わないまでも、この活動を通して伝
えることのきっかけになったら幸いです。ご協力ありがとうございました。



編)集)後)記)

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。本号と次号
で昨年12月1日に行われた「子育てフォーラム2018」の内容
を特集致します。今回のフォーラムでも、青木小・中学校PTAの
皆さんによるおもてなしがあり、リラックスして分科会に参加する
ことが出来ました。2月号では、NPO法人 侍学園スクオーラ・
今人理事長 長岡秀貴先生の講演会の内容と保小連携委員会、小中
連携委員会、特別支援教育委員会の3つの分科会の様子について詳
しくお伝えします。

